

氏 名 多田 智美 (Tomomi Tada)

所 属 薬学部

職 種 助教

生年月日 1993 年

[履 歴]

[学 歴]

2015 年 3 月 岩手大学農学部応用生物化学課程 卒業

[学 位]

2015 年 3 月 学士(農学)

[職 歴]

2015 年 4 月 青森大学薬学部 助手

2025 年 4 月 青森大学薬学部 助教

[受 賞]

[所属学会]

日本薬学会、日本薬学教育学会

[教育活動]

[担当科目]

薬理学実習、化学実習、物理学実習、生物学実習、天然物化学実習、有機化学実習

[卒業研究指導]

[ゼミ指導]

[教育指導に関する特記事項]

## [研究活動]

### [研究テーマ]

- ・Transient Receptor Potential channel の生理学的・病態生理学的役割
- ・緑内障発症機序の解明

### [著書、論文、総説]

### [学会発表]

1. 多田 智美<sup>1</sup>、岸 美輝<sup>1</sup>、輪島 輝明<sup>1</sup> (1. 青森大薬) 過酸化水素による網膜ミューラー細胞死に対するリソソームの役割 2025 年 03 月 日本薬学会 145 年会 (福岡)
2. 坂本 蓮、多田 智美、輪島 輝明 表皮角化細胞における長寿遺伝子及び酸化ストレスに対するメトホルミンの作用. 日本薬学会・日本薬学会第 145 年会、2025 年 3 月 (福岡)
3. 山口 弥悠、多田 智美、小松 一、輪島 輝明 冷え性改善効果を有する生薬の分子機序:TRP チャネルの関与. 日本薬学会・日本薬学会第 145 年会、2025 年 3 月 (福岡)
4. 片岡 紗彩、多田 智美、輪島 輝明 紫外線照射とメチルパラベン併用の併用が表皮角化細胞に与える影響と TRP チャネルの関与. 日本薬学会・日本薬学会第 145 年会、2025 年 3 月 (福岡)
5. 多田 智美<sup>1</sup>、輪島 輝明<sup>1</sup> (1. 青森大薬) ラット網膜ミューラー細胞における TRPM2 の探索研究 2024 年 03 月 日本薬学会 144 年会 (横浜)
6. 菊池 琢楽、岸 美輝、多田 智美、輪島 輝明 網膜ミューラー細胞におけるメカニカルストレスの作用. 日本薬学会・第 63 回日本薬学会東北支部大会、2024 年 10 月 (青森)
7. 多田 智美<sup>1</sup>、堀松 星翔<sup>3</sup>、三浦 裕也<sup>3</sup>、大越 絵実加<sup>1,2</sup> (1. 青森大学 薬学部、2. 青森大学 SDGs 研究センター、3. 国際医療福祉大学大学院 薬学研究科) 高校生の「社会的・職業的自立」に向けた取組—地域薬剤師との交流が与える影響— 2023 年 08 月第 8 回日本薬学教育学会大会 (熊本)
8. 多田 智美<sup>1</sup>、堀松 星翔<sup>3,4</sup>、三浦 裕也<sup>3</sup>、大越 絵実加<sup>1,2</sup> (1. 青森大薬、2. 青森大 SDGs 研セ、3. 国際医福大院薬、4. 丸大サクラヤ薬局) 高校生のキャリア形成を推進する地域薬剤師との交流 2023 年 03 月 日本薬学会 143 年会 (北海道)
9. 多田 智美<sup>1</sup>、堀松 星翔<sup>2</sup>、水野 憲一<sup>1</sup>、大越 絵実加<sup>1,3</sup> (1. 青森大薬、2. 丸大サクラヤ薬局、3. 青森大 SDGs 研セ) 地域薬剤師との交流による中学生のキャリア発達能力の習得・育成効果の検証 2022 年 08 月第 7 回日本薬学教育学会大会 (Web 北里大学)
10. 多田智美<sup>1</sup>、堀松星翔<sup>1</sup>、水野憲一<sup>1</sup>、大越絵実加<sup>1,2</sup> 地域薬剤師との交流が中学生の職業観にもたらす効果 (1. 青森大薬、2. 青森大 SDGs 研セ) 日本薬学会

142 年会 (Web 名古屋) 2022 年 3 月 25-28 日

11. 多田智美<sup>1</sup>、堀松星翔<sup>1</sup>、盛愛<sup>1</sup>、網野佳奈<sup>1</sup>、岡島未槻<sup>1</sup>、今藍理<sup>1</sup>、三浦裕也<sup>1</sup>、佐藤昌泰<sup>1</sup>、大越絵実加<sup>1,2</sup> (1 青森大薬、<sup>2</sup> 青森大 SDGs 研セ) 地方創生 SDGs (持続可能な開発目標) の取組における高校生の意識調査 2021 年 03 月 日本薬学会 141 年会 (広島)
12. 水谷征法<sup>1</sup>、大越絵実加<sup>1,2</sup>、多田智美<sup>1</sup>、佐藤昌泰<sup>1</sup>、三浦裕也<sup>1</sup>、水野憲一<sup>1</sup> (1 青森大薬、<sup>2</sup> 青森大 SDGs 研セ) 高大連携プログラム「高校生科学研究コンテスト」参加者のアンケート 調査からみる地方創生を目指す青森大学薬学部の役割 2021 年 03 月 日本薬学会 141 年会 (広島)
13. 岡島未槻<sup>1</sup>、浅田彩季<sup>1</sup>、網野佳奈<sup>1</sup>、佐藤宥人<sup>1</sup>、野口日向子<sup>1</sup>、堀松星翔<sup>1</sup>、盛愛<sup>1</sup>、多田智美<sup>1</sup>、三浦裕也<sup>1</sup>、佐藤昌泰<sup>1</sup>、大越絵実加<sup>1,2</sup> (1 青森大薬、<sup>2</sup> 青森大 SDGs 研セ) コロナ 禍における地域住民への健康イベントによる効果の分析 2021 年 02 月 13 日 AOMORI SIX 合同学修研究発表会 (青森市産官学連携プラットフォーム Web 開催)
14. 多田智美<sup>1,2</sup>、佐藤昌泰<sup>1</sup>、浅田彩季<sup>1</sup>、網野佳奈<sup>1</sup>、岡島未槻<sup>1</sup>、小川達也<sup>1</sup>、佐藤宥人<sup>1</sup>、相馬理佐<sup>1</sup>、邊見華菜恵<sup>1</sup>、三浦裕也<sup>1</sup>、大越絵実加<sup>1,3</sup> (1 青森大薬、<sup>2</sup> 青森大 薬・薬学教育セ、<sup>3</sup> 青森大 SDGs 研究セ) 青森県地域住民を対象としたフレイル対策のためのヘルスリテラシー調査 2020 年 09 月 12 日第 5 回日本薬学教育学会 Web 大会 (帝京)
15. 多田智美<sup>1,2</sup>、佐藤昌泰<sup>1</sup>、浅田彩季<sup>1</sup>、網野佳奈<sup>1</sup>、岡島未槻<sup>1</sup>、小川達也<sup>1</sup>、佐藤宥人<sup>1</sup>、相馬理佐<sup>1</sup>、邊見華菜恵<sup>1</sup>、三浦裕也<sup>1</sup>、大越絵実加<sup>1,3</sup> (青森大薬<sup>1</sup>、薬学教育セ<sup>2</sup>、青森大地域貢献セ<sup>3</sup>) 青森県地域住民におけるフレイルの認知度調査 2020 年 03 月 日本薬学会 140 年会 (京都)
16. 水谷征法<sup>1</sup>、大越絵実加<sup>1,2</sup>、多田智美<sup>1</sup>、堀端孝俊<sup>3</sup>、三浦裕也<sup>1,4</sup>、水野憲一<sup>1</sup> (1 青森大薬、<sup>2</sup> 青森大地域貢献セ、<sup>3</sup> 青森大ソ、<sup>4</sup> 青森大 FD 委) 青森大学高大連携プログラム「高校生科学研究コンテスト」の実施と参加生徒が希望する進路の意識調査 2019 年 08 月第 4 回日本薬学教育学会大会 (大阪)

[その他の活動]

[公開講座、講演、セミナー]

**[学内各種委員]**

卒業研究委員会（2022 年 4 月～）

薬用植物園運営委員会（2017 年 4 月～）

薬学部 学生実習委員会（2015 年 4 月～）

科学コンテスト実行委員会（2016 年 4 月～）

薬学部同窓会・生涯教育セミナー（2019 年 4 月～）